

[学会報告]

ラオスの小児外科卒後研修での SNS を用いた遠隔コンサルテーション支援 Remote support of establishing post graduate program on pediatric surgery in Lao PDR

勝井由美 1)、窪田昭男 1) 2)、窪田祥吾 3)、柳澤沙也子 4)、安田直史 5)、中村安秀 1)

1) 公益社団法人日本 WHO 協会、2) 月山チャイルドケアクリニック、3) WHO ラオス国事務所、4) 長崎大学 生命医科学域 (保健学系)、5) 近畿大学 社会連携推進センター

要 旨

ラオスの新生児・乳児死亡率は東南アジアで最も高い現状がある。しかしラオスには小児外科専門医が存在しない。当協会ではラオスが自国で小児外科専門医を養成できる制度づくりを支援するプロジェクトを立ち上げ、2020年7月より医療技術等国際展開推進事業の助成を受け、プロジェクト「ラオスにおける小児外科卒後研修プログラムの確立」を始動した。現在は自主プロジェクトとして、ラオス人小児外科暫定指導医と専門医候補者向けの指導を行っている。当初は現地に渡航して日本人医師による指導が行われる予定であったが、COVID-19の影響により渡航が困難となり、オンラインでの遠隔支援に切り替えプロジェクトは進行することとなった。支援を通してラオスの医師たちと交流を深めていく中で、スマートフォンの SNS アプリケーションを用いた小児外科症例の遠隔コンサルテーションが、ラオス人医師と日本人講師の間で自然発生的に行われるようになった。小児外科専門医制度の構築という極めて専門的な技術支援を遠隔で実施することの利点と同時に、直面した課題、今後に解決すべき障壁を明らかにすることにより、今後の国際保健医療協力に貢献することを期待したい。

連絡先：〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2 番 8 号 大阪商工会議所 5F
公益社団法人 日本 WHO 協会
勝井由美
TEL:06-6944-1110 FAX:06-6944-1136
Email:katsuiyumi@gmail.com